

きらきら

2022年10月27日(木) 第8号

園長 中谷 浩一

保護者アンケート

ご協力ありがとうございました！

アンケートの集計結果をお知らせします。何かお気づきの点や気になる点がございましたらご相談ください。よろしくお願ひします。詳細につきましては添付資料をごらんください。



保護者のみなさまには、本園の教育活動にご理解をいただき、積極的にかかわっていただきました(設問1)。お子さんが安心して園で生活できるよう保育教諭と信頼関係を築いてまいりました。運動会やPTA主催の夕涼み会は、園児が意欲的に登園する1つのきっかけになったことはそれぞれのアンケートの結果からうかがい知ることができました。



設問2では否定的な回答がなく、園での生活が楽しいことがわかりました。「開かれた園づくり」の一環として、情報発信に努めてまいりました。園児の日常的な活動やいろいろな行事等の取組について時機をみて提供することができたように考えています(設問4)。大空町から委託されている子育て支援事業の一時預かり(一般型)は、昨年度と比較して需要が急増しました。本事業が広く周知され利用する保護者が多くなったことは良いことです。一方で、この事業が2年を経過して、その運用については課題も見えてきています。より多くの方が利用できるような方策を早急に実施していきたいと考えます。先生方の園評価の「適切な支援活動ができたか」という項目では否定的な回答もあり、よりよい改善策を検討していきます(設問5)。日常における保育指導では、公園や園庭などの散歩に行ったり、虫を見たり、触ったり、捕まえて楽しんだり、夏は水遊び、七夕の短冊づくり、お祭りのお店をみて、それをごっこ遊びに取り入れたり、身近にある素材を活用した段ボールの乗り物で遊んだり、獅子舞の獅子を製作したりして想像の世界で楽しんだりしました。また、ドングリを割って中を観察するなど季節を肌で感じたり、日本の伝承や風習を知ることができました。愛着や信頼に基づいた指導やこども理解については、やや否定的な回答がありました。(設問9・10)。その点について保育教諭は一人ひとりの園児の育ってきた、育ちつ



つある、伸ばしてほしい部分について、その変化を自覚していくことが求められていること、また、その変化を記録して蓄積していく作業も必要であり、そのことについて、保護者から子どもの姿についてどう語られるのか、園児と保育教諭、保護者と保育教諭の関係の質をより深めていく必要を感じました。



* QRコードからも保護者アンケート、職員の園内評価をみることができます



行事予定



| 日 | 曜 | 行事予定 | お知らせ・お願い |
|----|---|---|--|
| 1 | 火 | 冬用帽子に変更  | 季節に合わせて3月まで黄色い帽子から冬用の帽子（自由）とします。帽子をかぶらないで登園することがないようにお願いします。 スクールバスのワッペン付け替えや名前の記入を忘れないようにお願いします |
| 3 | 木 | 文化の日 | お休みの日です |
| 8 | 火 | 観覧席取りくじ引き | 母親部会でくじを作成し、当日は学年合同で行います。年長は4月生まれ、年中は10月生まれ、年少は3月生まれから引きます。欠席の園児分は園長が引きます。 |
| 9 | 水 | 給食担当者会議 父親部会 18:00 | 給食のメニューについて振り返りと計画について検討しています はっぴょうかいに関わる役割分担などについてです |
| 16 | 水 | 総練習 9:00~11:40 お弁当の日  | 9時から開始します。以上児の登園時間は8:15までとなっています 父親部会・母親部会の方ご協力よろしくお願いします 詳しくは後日発行の手紙を確認ください 未満児、以上児ともお弁当持参です 月に1度のお楽しみですね |
| 19 | 土 | はっぴょうかい (以上児)  8:45~12:00 | 会場は、こども園 「お遊戯室」となります 詳細は後日発行の手紙でお知らせします。場所取りはお子さんの引いたクジの番号順となります。係の指示に従ってお並びください ★お手伝いが当たっている皆様よろしくお願いします★ 未満児の土曜保育は平常通り行います 希望者は9日までにお知らせください |
| 21 | 月 | 1号認定振替休業日 お弁当の日  | 1号認定のお子さんはお休みとなります 2号認定のお子さんの保育は行います 給食数の確認と人数により職員の配置が変わりますので、「2号認定児でお休みする場合」はコドモンにお休みの連絡を入れてください。 9日(水)まで にお願いします |
| 22 | 火 | 職員会議 | |
| 23 | 水 | 勤労感謝の日 | お休みの日です |
| 24 | 木 | 避難訓練 新入園児見学会 (~25日) | 地震発生を想定した避難訓練です。新入園児見学会があるため、戸外への避難はしません 新3歳児のお子さんが対象となります |
| 28 | 月 | JA 青年部 食育活動 | 年長児が、畑で収穫したお野菜を洗って、皮をむき、切って、炒める工程まで行います カレーライスとやきいもをつくります |
| 29 | 火 | 研修日 | 先生方の勉強の時間です |
| 30 | 水 | おたんじょうかい | 以上児はお遊戯室で誕生児の保護者とともにお祝いします。 未満児はクラスでお友達や先生とお祝いします。 |

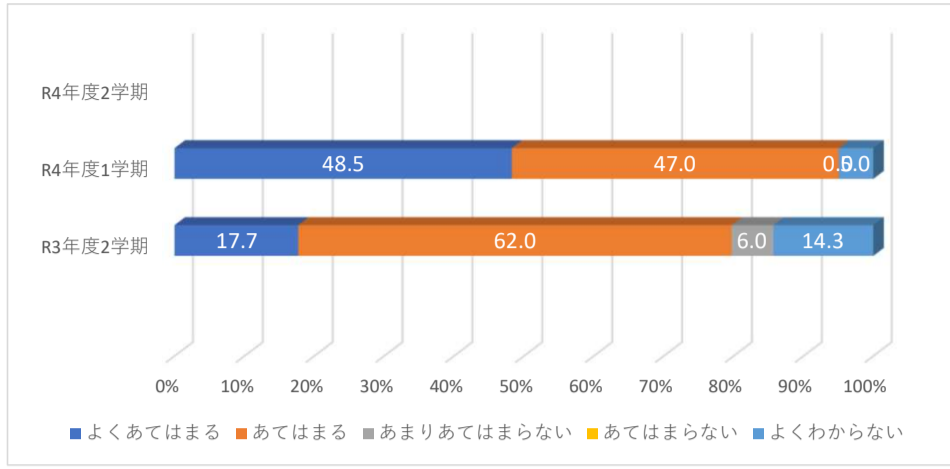
本園のHPアドレスは<https://kodomoen-memanbetsu.com/> です。

◎HPでは、「本日の給食」を写真でお知らせしています。レシピについてのお問い合わせは栄養士までご連絡ください。

◎HPの園長ブログは不定期ですが、「本日のできごと」をお伝えしています。

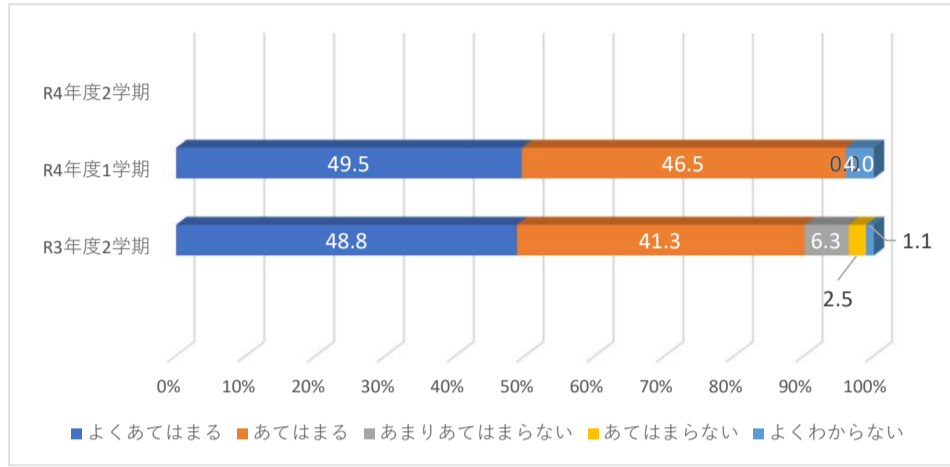
認定こども園めまんべつ 保護者アンケート集計結果一覧表

1 保護者は、こども園の教育活動をよく理解し、積極的にかかわっている



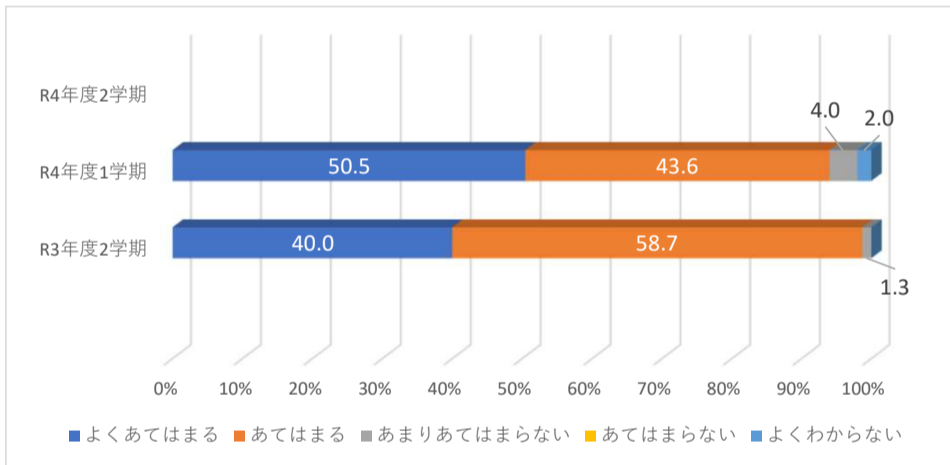
こども園で行う誕生会や参観日、学級や個人懇談は保護者と保育教諭が相互にこども理解を図る取組と位置づけています。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

2 園児は、笑顔でこども園に行くことを楽しみにしている



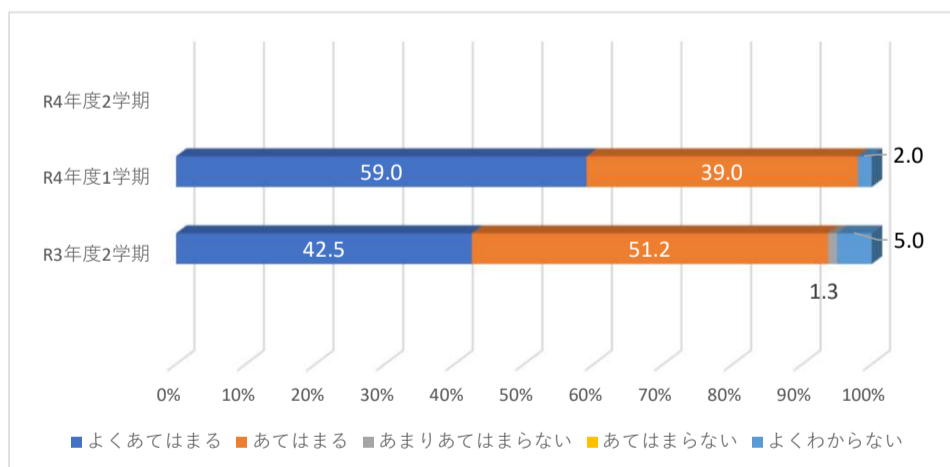
お子さんが安心感をもてるよう園児との信頼関係を築いています。行事や取組を楽しみに登園する園児が多いことはとてもうれしいことです。

3 園は、園舎内外の清掃・整理整頓など環境整備に努めている



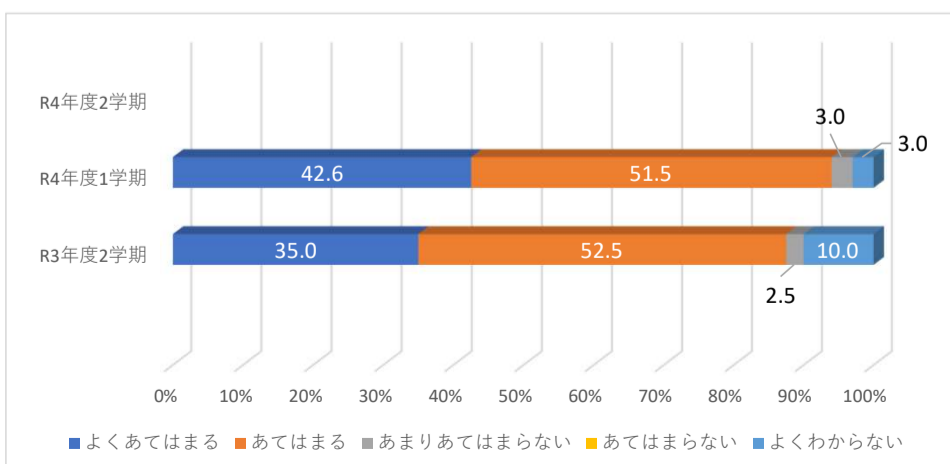
月1回の安全点検、環境美化（花いっぱい運動への協力）、園児が遊びこむための環境構成の工夫などに努めることができました。

4 園は、参観日や情報発信（HP、各種お便り、コドモン、降園時の連絡等）を通して、保護者や地域に開かれた運営を行っている



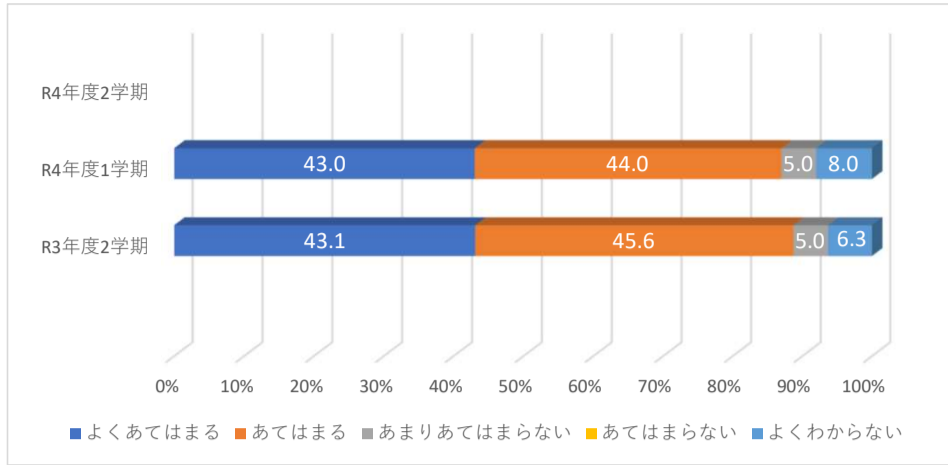
こども園での日々の活動については、さまざまな手段を使って発信することができました。

5 園は家庭とともに園児を育てる体制づくりを確立し、子育て支援を的確に行っている



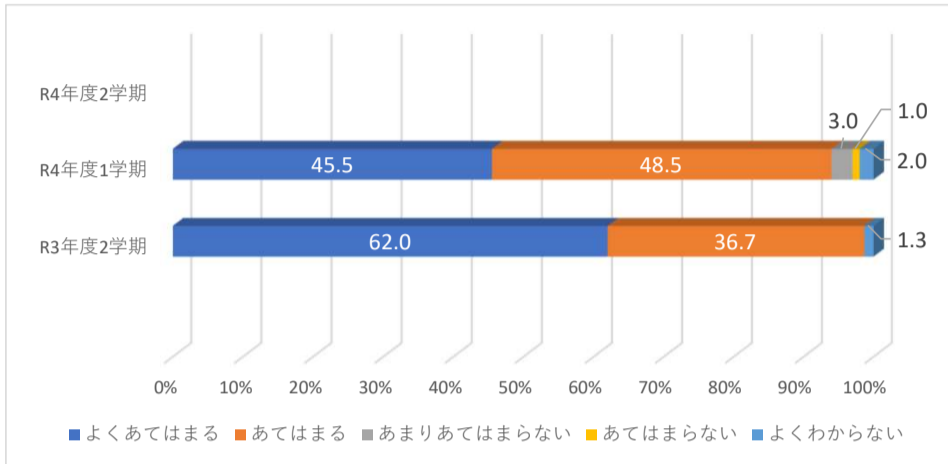
コロナ感染症の拡大防止のため、複数回の園開放を実施できませんでした。大空町の一時預かり事業（一般型）は、昨年度よりも需要が多かった分、当日キャンセルなど課題が残りました。

6 園は、保護者にとって相談しやすく、親身になって対応している



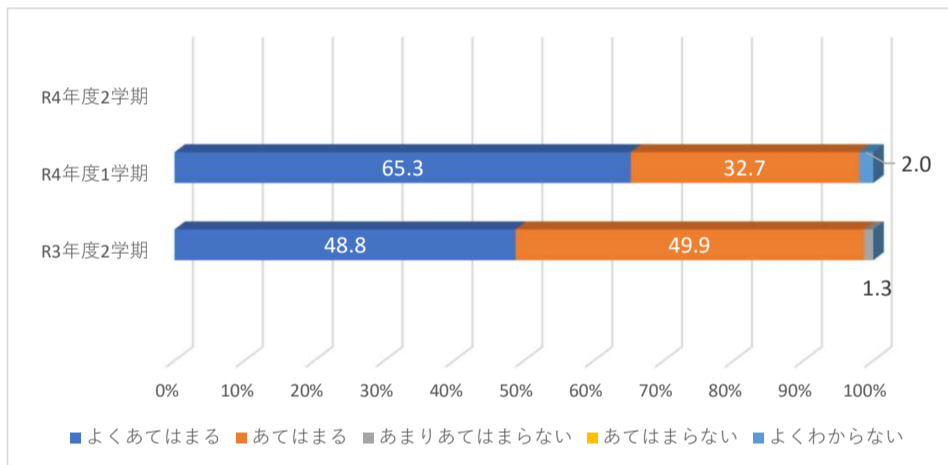
一人ひとりのその子らしさから育ってきたこと、育ちつつあること、伸ばして欲しいことについて相互理解を深めます。

7 園は、季節ごとの楽しい行事や遊びを計画的に行い、指導計画の工夫をしている



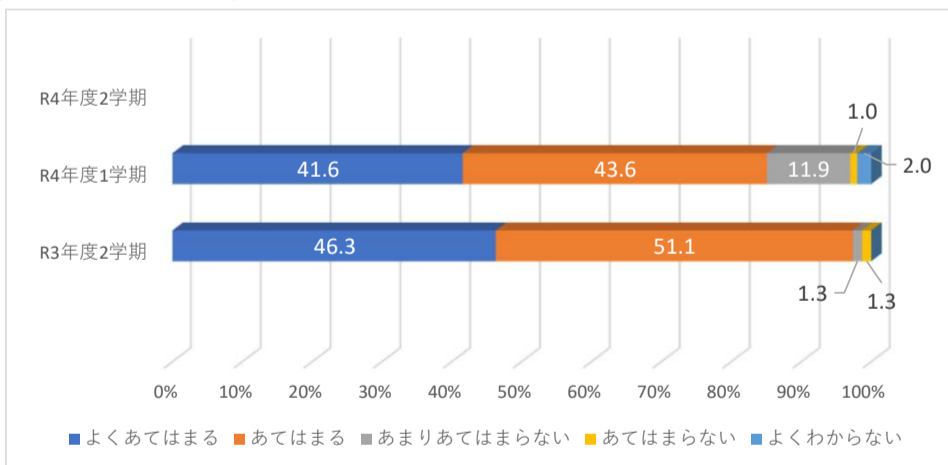
子どもの身近にある自然などを、自分の体で実感できる環境を整備していきます。春夏秋冬を体で感じたり、伝承されてきた風習を絶やさないようにしていきたいです。

8 園は、行事や活動の目的やねらいを明らかにし、園児の成長のようすをよく伝えている



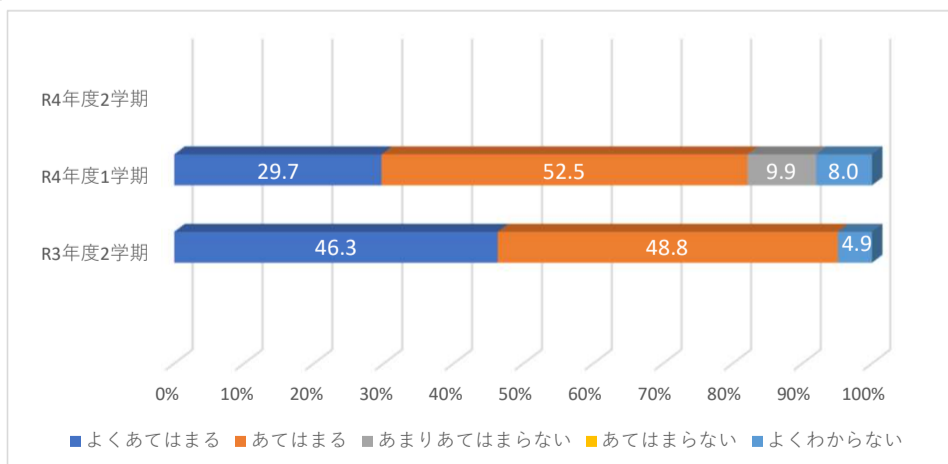
今年度、こども園が取り組んでいることは”園児が興味や関心をもって遊びこむ環境構成の工夫”です。運動会や日常の遊びに引き込む環境構成が意図的に行われていました。

9 園は、愛着と信頼を深め、協力してあたたかく園児の指導にあたっている



大人に愛され、無条件に受け入れられる、「見守り」「認める」「ほめる」等、当たり前のようにやっていることを続けていきます。

10 園は、園児をよく理解して指導にあたっている



こどもの姿を肯定的にとらえ、「何を、どのように書くか」を考えていきます。内面、個性、育ち、集団での状況、友だちとの関わりについて、その変化を伝えていきます

令和4年度用 園評価「自己評価」(前学期)

大空町認定こども園めまんべつ

| No. | 観 点 | 視 点 | 項 目 | 4 | 3 | 2 | 1 | ※ | |
|-----|--------------|--------------|---|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 運営方針 | 主体的な活動の保障 | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいた園運営を行ったか。 | 13 | 88 | 0 | 0 | 0 | |
| 2 | | 生きる力の基盤づくり | 大空町教育の基本理念に基づいた教育・保育を推進する園運営を行ったか。 | 25 | 75 | 0 | 0 | 0 | |
| 3 | | カリキュラムマネジメント | 社会に開かれた教育課程を編成し、「PDCA」による園運営を行ったか。 | 13 | 88 | 0 | 0 | 0 | |
| 4 | | 命を大切にす力の育成 | 園児の生命尊重及び危機管理を徹底し、安全・快適な園運営を行ったか。 | 38 | 63 | 0 | 0 | 0 | |
| 5 | | 資質能力の向上 | 職員の資質と能力の向上を図り、教育水準を維持した園運営を行ったか。 | 13 | 75 | 0 | 0 | 13 | |
| 6 | 指導方針 | 地域資源の活用 | 豊かな自然の中で、地域資源(ひと・もの・こと)を十分に活かした指導に努めたか。 | 26 | 58 | 11 | 0 | 5 | |
| 7 | | 体験活動の充実 | 環境と関わりながら「遊びこむ」ことができるような体験を重視した指導に努めたか。 | 21 | 63 | 5 | 0 | 11 | |
| 8 | | 心身の育成 | 基本的な生活習慣を身に付け、「豊かな心」と「健やかな体」を養う指導に努めたか。 | 37 | 53 | 5 | 0 | 5 | |
| 9 | | 子どもの理解 | 一人一人の人格や個性を尊重し、園児個々に寄り添った指導に努めたか。 | 26 | 58 | 5 | 0 | 11 | |
| 10 | | 発達の連続性の保障 | 園児の主体的な活動を確保し、小学校との接続を見通した指導に努めたか。 | 11 | 47 | 10 | 0 | 32 | |
| 11 | 主体的・対話的で深い学び | 自己調整力の育成 | 友だちとお互いの気持ちや欲求が異なることに気づき、自分の気持ちを調整する力が育まれていると思うか。 | 11 | 53 | 26 | 0 | 11 | |
| 12 | | 協働性の育成 | いろいろな友だちと伸び伸びと楽しんで遊んでいると思うか。 | 37 | 58 | 0 | 0 | 5 | |
| 13 | | 表現力の育成 | 自分の思いや気持ちを言葉や態度で伝えることができていると思うか。 | 26 | 63 | 5 | 0 | 5 | |
| 14 | | 非認知能力の育成 | こども園の生活全体を通して、楽しく過ごせていると思うか。 | 32 | 58 | 0 | 0 | 11 | |
| 15 | 教育課程 | 育ちの見通しに基づく保育 | 園の理念や教育目標および本年度の重点教育目標を踏まえた教育課程が編成・実施され、保育の記録のあり方やその活用に努めたか。 | 18 | 53 | 12 | 0 | 18 | |
| 16 | | 園内研修 | 園内研修の充実 | 保育研究を継続的に実施することなどを通じ、全園的な指導改善に努めたか。 | 18 | 53 | 18 | 0 | 12 |
| 17 | | 適切な保育 | 使命と職責の自覚 | 保育に携わる者としての責任と自覚をもち、適切な保育の指導(体罰や不適切な指導・言葉づかいなどの禁止)および保護者対応に努めたか。 | 24 | 65 | 0 | 0 | 12 |
| 18 | 特別支援教育 | 支援教育の体制づくり | 特別支援教育のための園内支援体制(園内委員会の設置、特別支援教育コーディネーターの指名、研修の実施等)の適切な整備に努めたか。 | 29 | 29 | 6 | 6 | 29 | |
| 19 | | 給食 | 食育の推進 | 安全な衛生管理と調理を行い、魅力ある食育の推進と工夫に努めたか。 | 12 | 53 | 18 | 0 | 18 |
| 20 | | 施設設備 | 環境構成の充実 | 遊びの環境(遊具や自然環境)を整備し、施設・設備の安全管理や整備に努めたか。 | 29 | 53 | 6 | 0 | 12 |
| 21 | | 情報発信 | 保護者との連携 | 園便りや学級便りやHPの発行など、主として保護者を対象とした情報の伝達・公開に努めたか。 | 24 | 59 | 6 | 0 | 12 |
| 22 | | 組織体制 | 組織体制の機能性 | 職員会議が有効に機能し、園務分掌や学年・学級経営が適切に機能し、組織的な運営・責任体制の確立(報告・連絡・相談)に努めたか。 | 12 | 77 | 6 | 0 | 6 |
| 23 | | 子育て支援 | 適切な支援活動 | 園児が安心して楽しむことができ、地域や保護者の実情や要望による子育て支援活動の適切な実施に努めたか。 | 18 | 53 | 12 | 0 | 18 |
| 24 | | 保健指導 | 健康・安全指導 | 家庭や地域の保健・医療機関等との連携協力の下で、日常の健康観察や感染症予防のための取組、健康診断の適切な実施に努めたか。 | 35 | 59 | 0 | 0 | 6 |
| 25 | | 危機管理 | マニュアルの見直し | 園事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日頃より危機意識を高め、危機管理マニュアル等の作成と活用に努めたか。 | 41 | 59 | 0 | 0 | 0 |

肯定的な回答が多数を占めた

○よくあてはまる
(上位ランク5つ)
危機管理
心身の育成
協働性の育成
健康・安全指導
非認知能力の育成

▼あまりあてはまらない
(下位ランク5つ)
自己調整力の育成
園内研修の充実
食育の推進
適切な支援活動
育ちの見通しに基づく保育

4…よくあてはまる。 3…あてはまる。 2…あまりあてはまらない。 1…あてはまらない。 ※…この印はよくわからない場合に○印を記入してください。

園評価のねらい

こども園における自己評価は、保育教諭が保育内容について評価し、保育の質を確保すること、その結果をふまえて保護者や地域社会と保育について理解が共有されることが目的です。

保育内容の評価は、保育の良し悪しや出来・不出来を「判定」するものではありません。

本園の強みと弱みを“見える化”して、明日の保育実践を考えるために行うものです。

※一覧表の※印の数値には、日常、保育活動には携わらない職員の回答もカウントされています。次回からはそのようなことがないようにし

本園の強みとなる項目

危機管理
(園児が安心・安全に過ごすための対策が図られている)

心身の育成
(基本的な生活習慣を含め、心身の育成に努められた)

協働性の育成
(遊びを中心として園の行事、日常の保育指導のなかで意図的に行われている、小学校との接続過程において重要事項である)

健康安全指導
(コロナ感染症をはじめ、他の感染症について、保健だよりやコドモン一斉配信で、適切な情報配信を行うことができた)

非認知能力の育成
(全般的に園児が楽しく生活できていると考えている職員が多数を占めている)

本園の弱みとなっている項目

自己調整力の育成
(自分がどんな気持ちなのかに気づき、それを回復する力の育成)

園内研修の充実
(職員の資質能力の向上のための研修機会の保障、特別支援教育に対するスキルの向上)

食育の推進
(安全な食の提供、リスクマネジメントの徹底に努めていく)

適切な支援活動
(子育て支援事業を適切に進めるために周知徹底を図っていく)

育ちの見通しに基づく保育
(本園の教育目標を踏まえた学級経営の充実を図っていく。ゴール(目標)を設定し、計画→実行→評価→改善のサイクルを機能させる)
(就学前の育むべき力をふまえた保育指導を実